

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2019.10.15 No.362 東京・羽村平和委員会発行



北関東防衛局、CV22の目視調査やめるな、調査拡充こそ

横田基地にCV-22Bオスプレイが正式配備されてから、2019年10月1日で1年が経過しました。

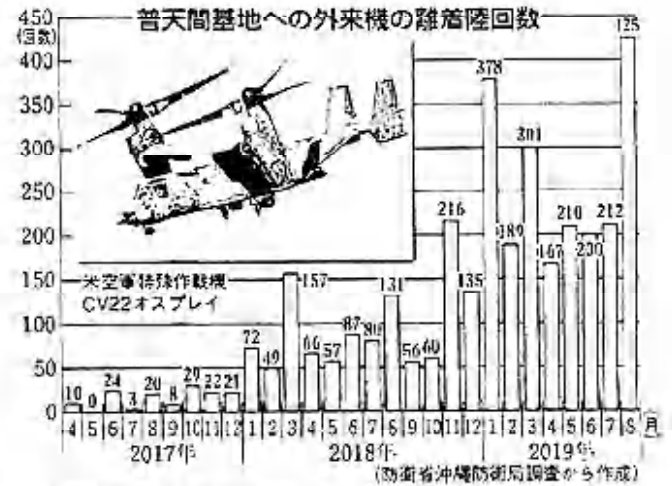
この間、防衛省北関東防衛はCVオスプレイの離陸・着陸の目視調査をしてきました。今年1月からは、毎日ではなく、ひと月にまとめたの情報提供になってしまいました。それでも調査は続行し、正式配備から1年間で575回の離陸・着陸があったと明らかにしました。これは、貴重な調査です。

ところが北関東防衛局は、10月から調査をやめるというのです。

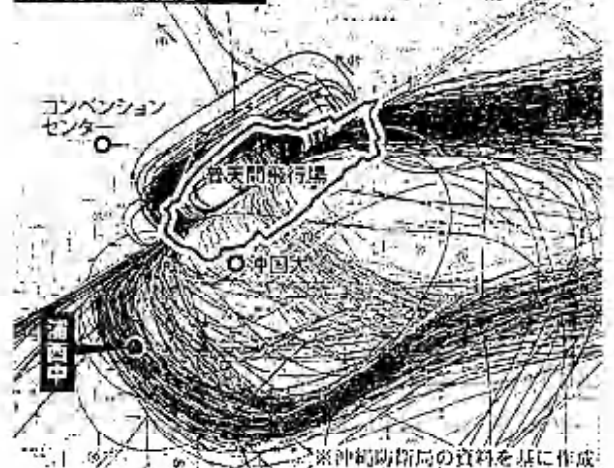
東京都や周辺自治体が「米軍基地の運用に関する情報は、国の責任において提供されるべきものである」として、「2019年10月1日以降も、横田基地におけるオスプレイの目視による情報提供を提供すること。」と要請したのは、当然のことです。

CVオスプレイの運用はまだ始まったばかりで、2024年までにはさらに5機追加されて、10機になる計画です。いま、オスプレイの運用実態を消してしまうことは、許されません。

北関東防衛局のこれまでのCVオスプレイの目視は、日没後や土曜・日曜は、実施していません。ですから、575回の離陸・着陸の回数は、実際より少ないのです。いま、実際に近い数を調べています。おおよそ、CVオスプレイの離陸・着陸は、840回以上です。



米軍普天間飛行場周辺の米軍機の場周経路



沖縄防衛局、飛来機も調査

沖縄防衛局は、右図のように、飛来機のデータも、MVオスプレイの航跡図も明らかにしています。

北関東防衛局も、CVオスプレイのデータを24時間把握し、航跡図も作成すべきです。



いま、横田基地が危ない

10月5日(土)、福生市民会館で「沖縄とともに声をあげよう 横田基地もいらない! 市民交流集会」が開催され、700人が参加しました。布施祐仁・平和新聞編集長、つるた一忠・市民交流集会事務局長、小柴康男・軍事情報アナリスト(写真右から順)3氏による鼎談は、特殊作戦基地横田の危険性を浮き彫りにしました。

台風被害にあわれた皆様に、お見舞い申し上げます

- ・10月20日は、第127回横田座り込み行動
- ・10月22日はJR3駅で宣伝署名の行動

横田基地所属軍人の酒気帯び運転による事故について

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会は、横田基地所属軍人の酒気帯び運転による事故について、米軍横田基地司令官と北関東防衛局長に要請を行いました。

[要請内容] 令和元年10月8日、北関東防衛局から、「10月6日未明、福生市において、横田基地所属の軍人が自動二輪車で酒気帯び運転により、物損事故を起こした」との情報提供があった。

横田基地では、所属の軍人が、今年5月12日に福生市及び羽村市において、また同月27日にも千葉県において、酒気帯び運転による物損事故を起こしている。

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会では、その都度、再発防止策と教育の徹底等を求め、横田基地からは、司令官による全体集会での注意喚起等の緊急措置を取ったとの報告を受けている。

それにもかかわらず、三たび、同様な事故が起きたことは、基地周辺住民の不安を増大させるとともに、再発防止等を要請してきた経緯を踏みにじり、住民感情の悪化を招くものであり、極めて遺憾である。

ついては、次のとおり強く要請する。

[要請事項]

1 事故の経緯や背景等について究明するとともに、短期間に三回もの酒気帯び運転による事故が発生したことを踏まえ、基地外での飲酒の禁止等、具体的かつ効果的な再発防止策を早急に講じること。

2 米軍関係者に対する教育及び綱紀粛正の更なる徹底を図ること。

3 以上の対策を速やかに実施し、関係自治体に情報を提供すること。

令和元年10月9日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官カーティス・C・ジョーンズ大佐 殿

ミシシッピ州でC130から降下の兵士 22人が 負傷

(2019年10月3日、知人からの情報) 負傷した22人のうち15人が基地で、7人が病院で手当て。全員、生命の危険はなし。陸軍兵は、アラスカ州エルメンドルフ・リチャードソン統合基地所属の第25歩兵師団第4旅団所属。強風で流され、目標を外れたか。

キャンプ・シェルビーで、約3000人がアークティック・アンビル作戦に参加中で、うち650人が演習に関わり、89が降下。とのこと。

ネバダ実験訓練場拡張反対

10月3日、ネイリス空軍基地で、平和のための退役軍人や他の団体の人々が、ネバダ州の実験・訓練区域の拡張計画に反対して25人がピケを張っている。

砂漠国立野生生物避難所にある広大な領域を、米軍が拡張しようとしている。この避難所は6つの山の地域に囲まれており、アメリカの先住民族も暮らし、神聖な場所も含まれている。

空軍は、2016年に拡張問題を最初に提出した。ネバダ州議会は、領域を拡張するためのいかなる提案も却下するため、今年臨時議会で一つの議決を承認した。軍の提案に反対は、ネバダでは、増えつつある。



CH53Eはなぜ墜落したか

2017年10月11日、沖縄・高江の民有地に米軍のCH53Eヘリコプターが墜落・炎上しました。米軍最大の輸送ヘリ「CH53E」は、なぜ、相次いで墜落事故を起こすのか。米国の大学を拠点とするジャーナリストたちが、その謎を追いかけています。その調査報道が出てきました。詳しくは後日に。